

学校便り 1月号

かけはし

薩摩川内市立里小学校 薩摩川内市里町里 1601 TEL 09969-3-2008
発行 令和7年1月17日 責任者 校長 永野 俊也

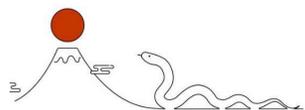
学校HP



学校ブログ



里周辺海水温
21℃(1/5)



2025年乙巳(きのとみ)新たな挑戦を!

今の教育に求められること

校長 永野 俊也

3学期が始まりました。1人の転入生を迎え、全児童 35 名となりました。冬休みを経て、子供たちは体調を崩していないかな?と気を付けて見ていましたが、とても元気よくスムーズに3学期をスタートしています。きっと家族と共に気持ちを新たに新年を迎え、よきお正月を過ごしたのだらうと思いました。

今年の干支は乙巳。乙は、美しく広がる草原を表し、巳は、@へビで成長する度に脱皮する特性から、生命力や再生の象徴とされます。また哲学者のニーチェは「脱皮できない蛇は死ぬ」という言葉を残しています。新しい時代の到来に、教育という未来を創る人を育てる仕事に携わっている私たちは、常に研修し、指導技術を磨き、新しい時代に対応できる子供たちを育てなければならない。そういう思いを新たに迎える年となりました。

昨年10月、全国の教育に関する最新情報が集まる会が徳島県であり、参加してきました。その中の講演で、次のような話が特に記憶に残りました。

「海外の高校生に『将来、起業してみたい人』と問うと、7~8割以上が手を挙げる。日本の高校生に同じ質問をすると、クラスで多くて2~3人が遠慮がちに手を挙げる…。日本で **起業** のことを学びたいと思ったとき… ICT やプログラミング等技術革新に関しては理系。起業についての学科?経済学部は文系まるごと学べる学校がない…」そう考えた人たちが集い、文科省の厚い壁を乗り越え、令和5年度に開校した学校が、徳島県にある **神山まるごと高専** でした。その学校HPからの抜粋を左下に掲載します。

テクノロジー×デザインで

人間の未来を変える学校。

15歳から、テクノロジーとデザイン、起業家精神を一度に学ぶ

テクノロジーは今の時代の公用語。デザインは未知の価値をカタチにする必須スキル。そして、起業は人間の未来を変える確度の高い選択肢。そんなふう考える神山まるごと高専は、10代この時期こそこの3つの分野を同時に学ぶ学校です。インプットだけでなくアウトプット重視の授業は、様々な分野を学問として学ぶだけでなく、実践的な知識やスキルを身に付け、15歳から20歳までの5年間で未来を変える力を身につけた独自の人間を育てます。

この学校は、日本を代表する多くの企業の賛同を得て、給付型の奨学金制度により、授業料が実質無償となるほか、全寮制のその寮費も無料もしくは、かなりの低額に抑えられ、日本各地から神山という徳島県の過疎の町に学生たちが集うようになりました。

未来の「モノをつくる力で、コトを起こす人」を育てる。そのために次のような人材を求めたい。

- ・多様な価値観を受け入れ、自分の意見を伝えられる人
- ・情報を適切に処理する思考力がある人
- ・正解のない問いに対して、独自の解を出せる人
- ・必要な学習を続ける意欲があり、学んだことを活かせる人

このほか、高専ですから当然、モノづくりに興味関心がある人が加わるのですが、上の4つは、今まさしく私たちが求めている教育の姿に重なります。

You tube等で、この高専で学ぶ学生たちの姿を見ると、私たちが頑張らねば。との思いが湧いてきました。この高専は併願可能で、里中からも普通に受験できます。入試問題もHP上に公開されています。

進路について視野を広げ、子供たちと未来を語るきっかけの一つにしてみたいはいかがでしょうか。

3・4年おにぎり作り

1月11日(土)は、3・4年生が育てたお米でおにぎり作りを行いました。7月から米作りの指導をしてくださった小川豊博さんを講師にお迎えしおにぎりを作りました。ご飯が炊きあがると、子供たちは楽しそうにおにぎりを握り、収穫の喜びを感じながら食べることができました。また、久保田さんから差し入れていただいたきびなごと合わせてちょっとしたお昼ごはんとなりました。



2月行事

- 3日(月) 生活リズム指導週間(～9日)
- 4日(火) 全校集会
- 5日(水) 委員会活動
- 8日(土) 土曜授業
- 11日(火) 建国記念の日
- 12日(水) 磯餅焼き
クラブ活動(3年生見学)
- 14日(金) かのこゆり号来校
- 23日(日) 天皇誕生日
- 24日(月) 振替休日
- 27日(木) 学級PTA
令和7年度役員話し合い
学校保健委員会



※ 上記日程は予定なので、今後変更の可能性もあります。

かわなべ青の俳句入賞

4回目の学校賞とはいきませんが、今年度は、1年生の中原隼汰さんが「南九州市教育委員会賞」を受賞しました。

「にいちゃんの おおそとがりは
あせまみれ」
という素晴らしい作品でした。



赤い羽根募金

総務委員会のみなさんが、朝、児童玄関前で呼びかけて集めた赤い羽根募金のお金を、社会福祉協議会の方に、お渡ししました。

総額は 6,792円
でした。
御協力ありがとうございました。



空き瓶回収

今年度の空き瓶回収の収益金額は

14,820円
となりました。今後有意義に活用させていただきます。御協力いただいた皆様、有り難うございました。

【お詫びと訂正】

12月の学校だよりで川内4団体連絡協議会による学校施設への地域貢献活動を、紹介しましたが、その際水建システム様の社名を誤って表記しておりました。誠に申し訳ありませんでした。



